

変わりゆく時代とともに生き続ける館
この館には、変わらぬ良さがあります

文化のみち榎木館は、都会のけん騒を忘れさせるよう静かに佇み、大正末から連なる記憶を今へ伝えています。どうぞ、四季折々の榎木館で、ゆったりとしたひとときをお過ごしください。

名古屋市

文化のみち榎木館

しゅもくかん

Cultural Path Shumokukan



- 開館時間／午前10時～午後5時
- 休館日／月曜日（祝日・振替休日の場合は直後の平日）、年末年始（12月29日～1月3日）
- 観覧料／大人 200円（20名以上の団体 160円）定期観覧券大人 800円
文化のみち二葉館共通観覧券 320円
※中学生以下は無料。その他各種減免があります。
- 貸室／文化のみち榎木館では和室・洋室・茶室・蔵・庭園をお貸しします。詳しくは、下記へお問合せください。
- お問合先／〒461-0014 名古屋市東区榎木町2-18
TEL 052-939-2850 FAX 052-939-2851
H P <http://www.shumokukan.city.nagoya.jp>
- 交通案内／地下鉄桜通線「高岳」下車、1番出口より北に徒歩10分
なごや観光ルートバスメーグル「文化のみち二葉館」下車、西に徒歩3分
名鉄瀬戸線「尼ヶ坂」下車、南に徒歩12分
市バス「東片端」下車、北に徒歩3分
基幹バス2号「清水口」下車、南に徒歩5分
※文化のみち榎木館に駐車場はありません。
公共交通機関をご利用ください。



このリーフレットは古紙パルプを含む、再生紙を使用しています。

文化のみち榎木館



蔵

東西2棟の土蔵があり、西土蔵1階は貸室としてご利用できます。



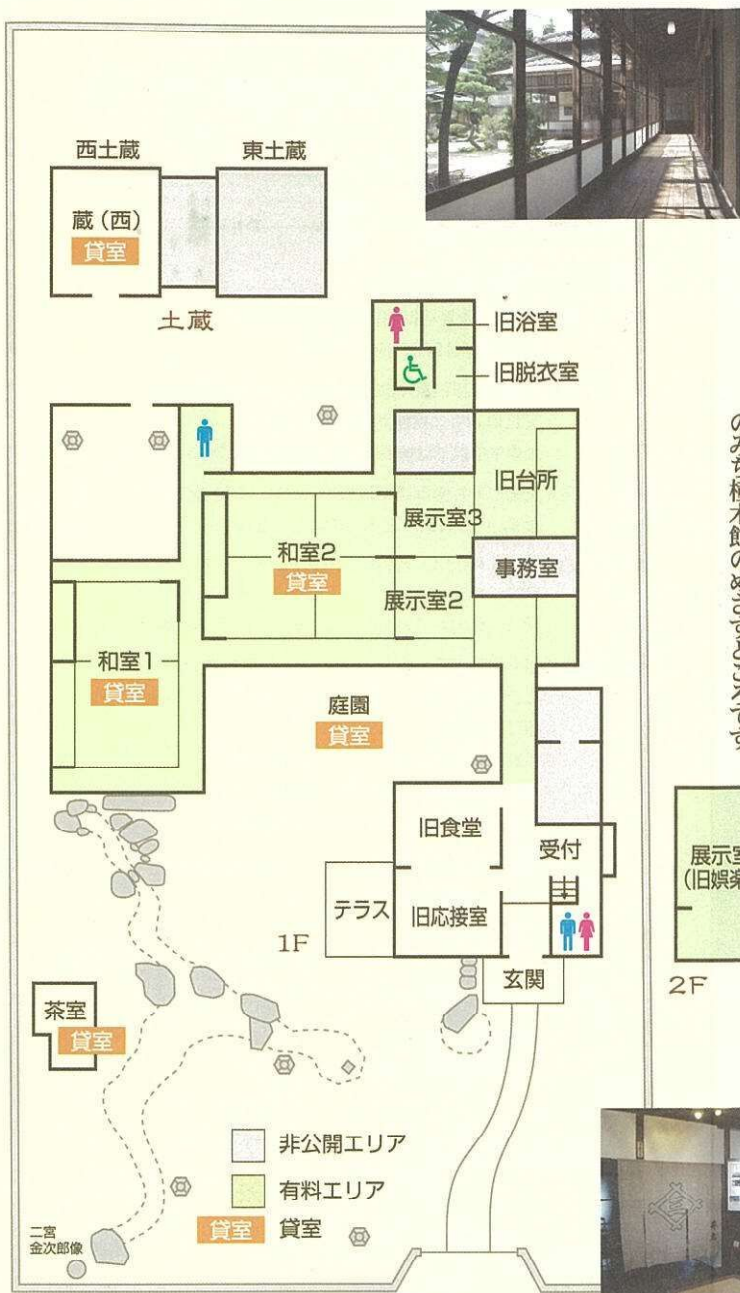
和室
懐かしい雰囲気味わえる、広く落ち着いた和室です。貸室としてご利用もできますので、展示やイベント等にご利用ください。



茶室
2畳半中板向切の構えの茶室が、緑のきれいな庭の一角にあります。



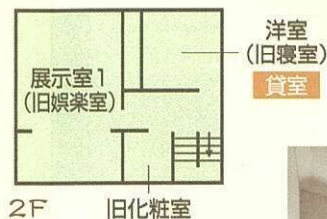
庭
和館、洋館、茶室をつなぐ緑豊かな庭園をご覧ください。四季折々の表情をお楽しみください。



文化のみち植木館は、陶磁器商として活躍した井元為三郎が、大正末期から昭和初期に建てた邸宅です。大きく区画割りされた敷地に和館、洋館、東西二棟の蔵、茶室、庭園が残されており、現在は名古屋市有形文化財、景観重要建造物に指定されています。

昭和初期の「歴史・文化」に触れ、そこから新しい「文化」を発信する。

植木館がたどってきた「歴史」を継承しつつ、私たちの手で新たな「歴史」をつくる。それが、文化のみち植木館のめざすところです。



展示室
洋館2階、和館にそれぞれ展示室があり、名古屋陶業や文化のみちについて紹介しています。



ステンドグラス
旧応接室、玄関ホールをはじめ洋館各所で見ることが出来ます。

